

令和5年度「日本語教室・日本語ボランティア研修（中級編）」実施報告書

1. 研修会の概要

日時：10月15日（日）、10月22日（日）、10月29日（日） 10：00～16：00

会場：iichiko 総合文化センター 4階 中会議室1

主催：大分県企画振興部国際政策課

事業実施：（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団 おおいた国際交流プラザ

参集範囲：日本語教室で学習指導者又は指導助手として活動している方を中心に、既存の日本語ボランティアの方

参加者数：51名（3日間合計）

2. 研修会の目的

令和5年度 大分県国際政策課委託事業「多文化共生推進事業委託業務（コミュニケーション支援）」のうち、「日本語教室・日本語ボランティア研修」の中級者対象の研修を実施する。

3. 講師

本田 明子 立命館アジア太平洋大学教授

4. 研修会のプログラム

（進行 おおいた国際交流プラザ 高橋 陽子）

時 間	スケジュール
9：30～10：00	受付
10：00～10：10	開会行事（主催者挨拶：大分県国際政策課課長 荻 貴伸）
10：10～12：00	講義・演習（適宜 休憩）
12：00～13：00	（昼食休憩）※昼食は各自で対応
13：00～15：50	講義・演習（適宜 休憩）
15：50～16：00	閉会行事

※大分県国際政策課の開会挨拶は初日のみ

5. 研修会の内容（詳細）

（1）開会挨拶

大分県国際政策課 課長 荻 貴伸 氏

日頃から本県の国際交流や多文化共生の推進にご尽力に感謝する。

本県には、2023年6月末時点で16,627人の外国人居住者がいる。昨年末からわずか半年で一割近く増加し、過去最高を大幅に更新した。その中でも「特定技能」や「技能実習」の在留資格を持つ



外国人の増加が顕著で、増加者数の約 7 割がこれらの外国人労働者である。また在留資格「特定技能 2 号」の対象分野の拡大が閣議決定されたことから、今後、特定技能や家族滞在の外国人がさらに増えていくことが予想される。日本語学習の場としてだけでなく、地域の方々とのコミュニケーションの場、職場や自宅ではない第 3 の居場所として、日本語教室や日本語ボランティアの果たす役割はますます重要となってくる。今回の研修は、すでに日本語教育を経

験したことがある方や初級研修を受講した方を対象としており、教材づくり等、より実践的な日本語の教え方を学んでいただきたい。

県としても、お互いを理解し、認め合う多文化共生を一層推進していくこととしている。皆様には今後も、日本語教室の運営や日本語ボランティアの活動を通じて、外国人に選ばれる大分県づくりにご協力いただくことをお願い申し上げます。

(2) 1 日目講義内容

「日本語を教える人のための日本語学－『日本語』と『日本語文法』に関する学びを深めよう」

午前

- ・日本語学と言語学
- ・「文法」とは何か
- ・文法は変わる！、ことばの乱れとゆれ
- ・日本語教育文法と国文法（学校教育文法）

午後

- ・単語（レベル）の文法
- ・文（レベル）の文法
- ・談話（レベル）の文法
- ・社会言語（レベル）の文法



1 日目 講義①



1 日目 講義②



1日目 講義③



1日目 講義④

(3) 2日目講義内容

「私たちの教科書・教材づくり①ー教材づくり、はじめの一步」 日本語教育学の基礎知識②

午前

- ・「どうやって」教えるのか 教授法とシラバス、コース・デザイン
- ・私たちが教えたい「日本語」ってどんなもの？

午後

- ・作りたい教科書のコンセプトを考える→教科書の設計図を作ろう



2日目 講義①



2日目 講義②



2日目 グループワーク①



2日目 グループワーク②



2日目 発表①



2日目 発表②

<2日目グループワーク内容 教科書のコンセプト>

教科書・教材づくりのはじめの一歩として、日本語教室を立ち上げるにあたり、自分の身近なコミュニティは将来どのようなようになってほしいかをグループで考えた。地域との連携という観点からコミュニティ・デザインによる日本語教室を念頭に置き、参加者それぞれが活発に意見を出し合い、教室にかかわる人として意識の共有、合意形成を行った。その後、自分たちの日本語教室が目指すもの、目的、到達目標をグループ内でディスカッションし、教室のコンセプトを少しずつ具体化させた。最後には、次回の教材作成・発表に向けた各グループのコンセプトを発表した。

(4) 3日目講義内容

「私たちの教科書・教材づくり②－教材を作って使ってみよう」 教科書のコンセプトの具体化
午前

- ・私たちの教科書 第1課を作ってみよう

午後

- ・作った教科書を使ってみよう どんな授業になるでしょうか
- ・今後の活動について、参加者のみなさんで情報（意見）交換！



3日目 講義①



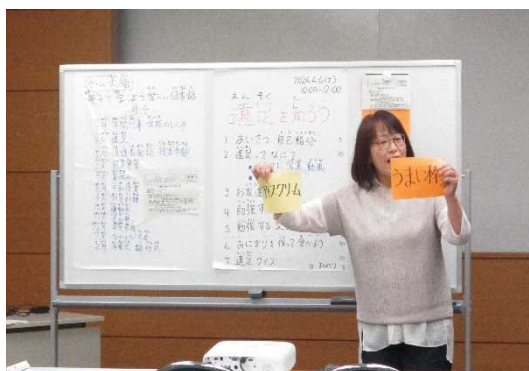
3日目 講義②



3日目 グループワーク①



3日目 グループワーク②



3日目 発表①



3日目 発表②



3日目 ネットワーキングタイム①



3日目 ネットワーキングタイム②

<3日目グループワーク内容① 第1課を作ってみよう、作った教科書を使ってみよう>

各グループは、教材づくりに必要な教室のコンセプトや運営方法、シラバスの方向性、教科書全体の構成等、前回の内容を再度確認し、意見をまとめあげ、教科書作成に取り組む。作成に際しては、運営方法やシラバスに従い、色紙やペン、カードを使って場面設定に必要な教材やゲームを準備する。その後、各グループ持ち時間15分で、作成した教科書のコンセプトやシラバスを説明し、実際にどのような授業ができるかを発表した。今回は1課分の教科書作成・発表ということもあり、「学校行事」「買い物」などの

1 回完結型の場面シラバスの教案を作成したグループが多かった。発表後には、運営方法やシラバスについての質問や意見交換を行った。

<3 日目グループワーク内容② 参加者間のネットワーキング（交流・連携促進）タイム>

グループワークとは別の参加者とのネットワークづくりを行う。今回の研修には実際に日本語教室で教えている参加者が多くいたことから、教室運営や教材選びの悩みの共有や、これから日本語教室で教えたい参加者に対しアドバイスをする等の貴重な時間となった。